

立東舎文庫5月の新刊は

宇野亞喜良のルーツを知るための、 必読エッセイ集



定本 薔薇の記憶

寺山修司が主宰した劇団《天井棧敷》のポスターやマックスファクターをはじめとする広告のアートディレクションで60年代に一世を風靡、その後も常に第一線で活躍するイラストレーターの宇野亞喜良は、傘寿を過ぎてなお精力的に活動を続けている。本書は60年代から書き続けているエッセイを1冊にまとめた『宇野亜喜良全エッセイ・薔薇の記憶』（東京書籍、2000年）を初めて文庫化したもの。華麗で流麗な絵の世界にも通じる、宇野独特の文体で、コクトー、ゴッホ、春信など画家にまつわる考察から映画、暮らしの断片までが綴られている。文庫化に当たっては、一部改稿のうえ、新たに『俳句四季』誌のカラー連載「メルヘン句楽部」を巻頭口絵に、『月刊てりとおり』連載の「話の横道」を巻末に掲載し、美しいイラストレーションも楽しめる1冊に再構成した。著者自装。解説：阿川佐和子

著者：宇野亞喜良 定価：(本体900円+税) A6判/384ページ

5月17日(水)
配本

CONTENTS

- カラー口絵 メルヘン句楽部
- I ボンティの椅子
- II 憧れの悪漢生活
- III ルナティック日記
- IV ハワイからの手紙
- V 話の横道
- 解説 阿川佐和子



カラー口絵

貴店印	タイトル	ご注文数
	<p>【新刊】立東舎文庫 定本 薔薇の記憶</p> <p>定価：(本体900円+税) ISBN978-4-8456-3043-1</p>	<p>新刊指定締切 5月2日(火)</p> <p style="text-align: right;">冊</p>

（お知らせ）立東舎文庫は都合により4月刊行はございません。ご了承下さい。